シラバス

2021 年度

ビジュアルデザイン科イラストレーション・絵本専攻２年

本物にふれる　本当の力をつける

学校法人髙澤学園 美術造形専門学校
創形美術学校
ファインアート科／ビジュアルデザイン科／研究科

履修ガイド

１．シラバス・出講 表

(1)　各授業のシラバス・出講表として授業内容の他、学習目的、予習、準備物、注意事項とともに評価方法および教員・講師の出講日も記載。授業の１週間前にはアトリエに出講表を掲示。また学校ホームページでも確認することができる。

(2)　指導日以外は授業が休みということではない。指導日以外の日も各自で制作を進めること。授業期間で制作を行うことで時間数に基づき単位がそれぞれ設定されている。スケジュールを確認し、　作品提出日をしっかり守ること。

(3)　シラバス、出講表、年間行事は学校ホームページで閲覧できる。
　　＊年間行事の変更があった場合には、その都度更新される。

２．単 位

単位認定

(1)　実技の場合、課題の採点により合格と認定のあった学生には、所定の単位を与える。学科の場合、試験、課題(レポート含む)等の採点により合格と認定のあった学生には、所定の単位を与える。(2)　単位計算の基準=各授業科目（実技、学科共）に対する単位は週 90 分半期 17 週相当（25.5 時間）の授業をもって１単位とする。

進級の単位数

本校の学生が進級するには、１年間の修得単位が３2 単位以上なければならない。

卒業・修了の単位数

本課程の学生が卒業するには 3 年以上在学し、かつ所定の 96 単位以上修得しなければならない。

研究科生は 1 年以上在学し、かつ所定の 32 単位以上修得しなければならない。

3．履 修

(1)　授業について単位を修得するためには２/３以上の出席が必要となる。止むを得ず授業を欠席する場合、必ず事前に学校へ連絡すること。

(2)　原則、指導日の授業開始時に出欠確認を行う。遅刻・早退は記録し、欠席扱いとなる場合がある。

(3)　交通機関の遅れに関しては必ず遅延証明書を授業担当教員へ提出すること。

(4)　学生の履修は在籍する科の指示に従い、受講する科目は原則として全て履修する。

(5)　授業途中からの受講は原則として認めない。

(6)　受講した科目は、原則として変更することはできない。

(7)　選択を希望する科目で受講人数が多い場合は、人数制限を行う事がある。

４．採 点

(1)　受講した科目は課題(レポート含む)を提出しなければならない。

(2)　必要に応じて授業内で課題(レポート含む)提出を複数回、行うことがある。

(3)　科目の採点は、授業終了時に行われる。

(4)　採点の方法は課題(レポート含む)の提出を含む総合的な評価で採点する。 ※評価方法はシラバスに掲載（5)　受講した科目の出席日数が３分の２以上に満たないものは、原則として採点を受けることができない。

５．追 採 点

病気その他やむを得ない事由により課題（レポート含む）を提出することができなかった者に対し、事前にその旨連絡のあった場合に限り、願い出により実施することができる。ただし課題（レポート含む）内容は授業内の課題（レポート含む）と異なる場合がある。

６．採 点 基 準

(1)　採点は、６０～１００を合格とし、それ以下を不可とする。

(2)　配点区分は次による。

採点	評価	
１００～９５	ＡＡ	合格
９４～８０	Ａ	
７９～７０	Ｂ	
６９～６０	Ｃ	
５９～　０	Ｄ	不可
保留	－	仮処置

(3)　採点保留(仮処置)による扱い

※学科において採点の結果、点数が 59 点以下の場合、不可となり原則として次年度以降において再履修となる。

※授業を担当する講師による採点が保留となった場合は、追課題（レポート含む）が課せられる。追課題の採点は専任の判断に委ねられ、成績会議によって認定される。

※修得単位数が 1 年次、2 年次それぞれで 15 単位以下、または 1・2 年次を通じて合計 32 単位以下は留年となる。16 単位以上で所定の 32 単位に足りない場合は仮進級という扱いになる。

7．学 科 再 履 修

採点の結果、不可となった者は次年度以降において原則としてその学科目を再履修しなければならない。ただし、在籍学年の履修を優先とするため、履修科目の変更、または再履修年度の変更についての決 定は学校の指示に従うこととする。

8．仮進級／卒業・修了資格判定および卒業・修了判定

(1) 本課程は前期、後期授業において学科・実技の履修状況の確認を学期末に学生・保護者に郵送する。
単位不足のある学生は学校の指示に従い、不足分の単位修得を行わなければならない。

(2) 卒業・修了年次においては 11 月頃に卒業資格判定を行う。その際に出席など総合的に考慮した結果、卒業・修了資格無しと判定された者は卒業・修了制作を着手することができず、卒業および修了不可となる。

(3) 卒業・修了判断保留の学生については卒業・修了制作作品提出後、卒業・修了判定を行い、単位の修得状況の他、卒業・修了制作規定違反など総合的に考慮した結果、卒業・修了不可となり、留年もしくは卒業・修了延期となる場合がある。

(4) 学費において未納がある場合、卒業・修了判定において卒業・修了不可もしくは除籍となることがある。

9．専攻を越えた授業

専攻を跨いで受講することが可能。ただし専任教員の許可が必要。

(1) 授業開始の 2 週間前までに専任教員に「受講届」を提出、面談、了承を得てから受講すること。

(2) 授業によっては、そこで使用する道具、機材やアプリケーションなどの関係で受講できないことがある。

(3) 原則、自身の専攻を疎かにしない範囲での受講となる。

(4) 「受講届」は学校ホームページよりダウンロードできる。

10．リモート（ 遠 隔 ）授 業

本校では対面授業の他にリモート（遠隔）授業を行う。

リモート授業はスマートフォンでの受講も可能であるが、可能であれば PC やタブレットでの受講を推奨する。また、十分な環境が整っていない学生のために学校内に受講教室が用意されている。また、ネット環境が不安定で映像や音声が乱れるなどの恐れがある場合も学校内の受講教室での受講を推奨する。

リモート授業は以下の 2 タイプの授業形態である。

(1) 「リアルタイム授業」は Zoom を使用してリアルタイムに行う授業である。

(2) 「オンデマンド授業」は創形特設ページ（非公開）にアクセスし、録画された動画を視聴

し、受講する授業である。

動画視聴は創形生のみの非公開となる。パスワードは学外に漏れないように取り扱いには充分注意すること。

※授業の形態や授業の進め方に関しては授業担当教員から説明される。

リアルタイム授業の進め方

(1) リアルタイム授業はあらかじめ Zoom をインストールして授業を行う。スマートフォンでも受講可能。

(2) Zoom の表示名は必ず学籍簿登録の氏名とすること。学生登録名になっていない場合、欠席扱い、あるいは退出させることがある。

(3) Zoom アカウントの ID とパスワードは事前に各授業ごとにメールで通達する。

(4) 配布する授業資料がある場合は Zoom アカウントの ID などと共に連絡し、本校ホームページ、あるいは Google Classroom へ PDF でアップするか、登校時に配布する。受講生は事前に目を通し、場合によってはプリントアウトしておくこと。

資料を閲覧できるのは創形生のみの非公開となる。取り扱いには充分に注意すること。

(5) 授業は原則、通常の授業時間で行う。授業開始 5 分前までに準備し、接続すること。

(6) できるだけ静かな場所で受講すること。また背景に映り込むものに不都合がないか確認を行うこと。

ハッキングや情報漏洩のリスク軽減のため、フリーWi-fi の使用は推奨されない。

(7) ウェブカメラ付きのパソコンやスマートフォン等を使用し、カメラは必ず ON にし、マイクはミュートにして受講すること。質問など発言する際にマイクのミュートを解除して使用すること。発言する際には必ず教員の許可を得ること。

(8) 教員への質問はチャット機能を使用するか、教員が許可した場合にマイクのミュートを解除して行うこと。

教員の音声が途切れた場合なども同様に、チャット機能を使用するか、マイクのミュートを解除して質問または再度、話し直してもらうようにお願いすること。

(9) 授業時間内での Zoom での対応は教員の指示に従うこと。

一時的に Zoom から退出する場合は、担当教員に必ず許可を得ること。

(10) 自宅のネット、パソコン環境が不十分な学生は本校アトリエにて受講すること。

また、リアルタイム授業終了後に次の授業までの登校時間が確保できない学生も同様に学校の指定されたアトリエにて受講すること。

※午前中に行う 3 時間の実技授業は 9:00 授業開始 12:00 終了とする。午後に実施する実技授業は 13:30 授業開始 16:30 終了とする。これは午後の対面授業の登校時間を確保するためである。午前中の実技授業において、登校時間がかかり午後の授業に間に合わない場合は、

教員に許可を願い出て早退することができる。ただしその場合は早退の時間に相応の宿題が出される。

リアルタイム授業の出欠・採点

(1) 担当教員がZoomで確認して出欠を取る。場合によってはZoomの録画機能を使用することもある。

遅刻した場合は、チャットあるいは音声にて必ず担当教員へ申告すること。

また途中での退席は早退扱いとなることがあるので注意すること。一時的にZoomから退出する場合は、担当教員に必ず許可を得ること。

(2) 作品、レポートの提出は授業担当教員の指示に従って提出すること。採点は対面授業と同様の方法にて行われる。

(3) データでの提出は担当教員の指示に従い、Google ドライブ、DropBoxなどで提出する事もある。

(4) 作品データを添付する場合は10MB以内にすること。

10MB 以上のデータサイズの場合はオンラインストレージサービスなどを使用すること。以下参照。

オンラインストレージサービス ＜ギガファイル便＞

https://gigafile.nu/

※1ファイル＝200GBまで可能。使用方法が分からない場合はメールにて学校へ問い合わせること。

オンデマンド授業の進め方

(1) オンデマンド授業は、Gmailアカウントを使用する。

(2) 創形特設ページ（非公開）にアクセスし、録画された動画を視聴して行う。スマートフォンでの受講も可能。

(3) 創形特設ページのアカウントのURLやID、パスワードなどを事前に通達する。

(4) 授業動画は、各自でアクセスして視聴すること。

授業では1回の授業に対してレポートか作品制作などの提出物がある。提出日に注意し、遅滞なく提出すること。それらの提出が無い場合は受講したことにならないので注意すること。

(5) 授業内で作品に対する講評やコメントに関してもオンラインで行うことがある。

(6) 配布する授業資料がある場合は、創形特設ページのアカウントIDなどと共に連絡し、本校ホームページ、あるいはGoogle ClassroomへPDFでアップするか、登校時に配布する。

受講生は事前に目を通し、場合によってはプリントアウトしておくこと。

動画視聴、および資料を閲覧できるのは創形生のみの非公開となる。パスワードは学外に漏れないようにまた資料の取り扱いには充分注意すること。

(7) 自宅のネット、パソコン環境が不十分な学生は本校アトリエにて受講すること。

オンデマンド授業の出欠・採点

(1) 授業の形態や授業の進め方に関しては授業担当教員から説明される。

(2) 授業の出欠は作品、レポートなどの提出物が期限内に提出されたことの有無で担当教員が取る。

期限内に必ず提出すること。

(3) 作品、レポートの提出は授業担当教員の指示に従って提出すること。採点は対面授業と同様の方法にて行われる。

(4) データでの提出は担当教員の指示に従い、Google ドライブ、DropBox などで提出する事もある。

(5) 作品データをメールに添付する場合は 10MB 以内にすること。

10MB 以上のデータサイズの場合はオンラインストレージサービスなどを使用すること。(上記参照)

リモート授業における禁止事項

(1) ビデオ通話、音声通話の、録画・録音・撮影は禁止。また転記することも禁止。

(2) 許可なく誰かを同席させるのは禁止。もしも同席を希望される場合は、事前に教員の許可が必要。

11．授業単位サポート制度

「授業単位サポート制度」とは単位修得をサポートするための制度。いずれも専攻担当専任教員と面談を通じて認定される。

代替授業、学外活動を通じて認定

(1) 所属専攻、該当学年の授業以外の授業を受講することによる単位修得（単位数：受講授業単位に準ずる）

※所属専攻の授業と重複した場合は受け入れ授業の担当教員の許諾により、途中からの受講、中抜けも認め、その場合のみ出席扱いとする。

(2) インターンシップに参加、レポートを提出することによる単位修得（単位数：1 単位）

※2 年次の「インターンシップ」の授業と同様のインターンシップを、授業以外の期日に行った場合に認める。「インターンシップ」の授業同様に書類、レポート提出が必須。採点方法は受入会社の評価に従い採点。

(3) ボランティア活動などによる単位修得（単位数：活動期間に準ずる）

※単位認定は原則、実質１日８時間のボランティア活動を５日行う事で１単位とする。事前に専攻担当専任教員による面談を行い、ボランティア活動を行った後に「ボランティア活動報告書」の提出をもって認定。採点評価。

認定されるボランティア活動に、豊島区の国際アート・カルチャー活動を含む。

(4)　学外コンペに出品することによる単位修得（単位数：1 単位）

※専攻担当専任教員にコンペの内容を事前に報告し、出品前に専攻担当専任教員の講評を受けて出品すること。ただし授業の一環として行われたコンペの出品は認められない。

例：「JAGDA 学生グランプリ」「アワガミ国際ミニプリント展」「回遊美術館」「GU タペストリーコンペ」etc

特別支援授業を通じて認定

特別支援授業を受講することによる単位修得（単位数：各 1 単位）

受講料：1 講座 15,000 円 ／ 採点方法：提出作品、試験、レポート等によって採点。

※特別支援授業とは、単位取得を支援するために行われる授業。春期休暇、夏期休暇に実技授業・学科授業が開設。授業日の前の週までに事務局窓口で受講することを告げ、受講料を支払うことにより受講が認められる。

12．参 考 作 品

提出のあった課題作品、およびレポートについては原則として採点終了後、すみやかに返却を行う。場合により参考作品として一定期間預かり、授業の資料として授業時やガイダンスなどで使用する事がある。また、学校案内用の印刷物や広報（ホームページ、SNS など）および学校外など授業以外での目的で作品を使用する事がある。

１3．各種書類

各種届け出、証明書の発行は本校事務局にて受け付ける。

ダウンロードが「可」の書類は学校ホームページよりダウンロードできる 。（創形ホームページ → 学生生活 → スクールガイド → ）

各種届け出

種　類	提出先	本人印	保証人印	ダウンロード
住所変更届	事務局	要	不　要	可
受講届	教務	不　要	不　要	可
欠席届	教務	要	要	可
感染症登校許可書	教務	不　要	不　要	可
忌引届申請書	教務	要	要	可
学籍異動申請書	教務	要	要	可
休学届	教務	要	要	可
復学願	教務	要	要	―
退学願	教務	要	要	―

証明書関係

種　類	交付日	申込先	手数料
在学証明書	2 日後	事務局	500 円
卒業証明書	2 日後	事務局	500 円
卒業証明書（英文）	7 日後	事務局	1,000 円
卒業見込証明書	2 日後	事務局	500 円
修了証明書	2 日後	事務局	500 円
修了証明書（英文）	7 日後	事務局	1,000 円
修了見込証明書	2 日後	事務局	500 円
成績証明書	7 日後	事務局	500 円
成績証明書（英文）	7 日後	事務局	1,000 円
再発行学生証	3 日後	事務局	1,000 円
推薦書・学校証明・編入学基礎資格証明など	7 日後	事務局	500 円
学生証明など	7 日後	事務局	500 円

勤労学生控除・資格変更書類など	7 日後	事務局	500 円
出席証明書	7 日後	事務局	500 円
学生旅客運賃割引証（学割証年間 3 枚まで）	1 日後	事務局	無料

※上記証明書において学費未納の場合は発行不可。

＊新型コロナウイルスの感染症拡大の影響に伴い授業日程（時期・期間・時間帯など）、授業内容、使用アトリエなどが変更になることがあります。詳細は出講表を確認してください。

ビジュアルデザイン科イラストレーション・絵本専攻

シラバス

前期学科授業名：「色彩論Ⅱ」　担当講師：岩崎沙織

授業期間：2021/04/14(水)- 2021/09/22(水)

学習目標：配色の応用やUC（色のユニバーサルデザイン）など、より実践的な色の知識・テクニック習得を目指します。色彩調和や配色イメージを活用した作品制作を行い、色で表現する力と色を伝える力を身につけます。

授業内容：デザインにおける色の役割、UC（色のユニバーサルデザイン）、色彩調和、配色イメージの講義・課題制作。色の効果を活用した作品の制作・発表　※AFT 色彩検定 2 級・UC 級対応

選択学科(前期・後期)授業名：「フランス語 II」　担当講師：内田雅之

授業期間：2021/04/17(土)- 2022/01/22(土)

学習目標：フランス語１の修了者を対象として、一年次に習得した基礎力を基盤としながら会話表現・文法の両面での知識を広げていきます。また、少しずつ書かれたものを読む練習も行います。

授業内容：前期は、まず問題練習などを通じて、書くという別観点を少し意識しながら昨年の復習を行います。その後複合過去、単純未来へと文法面で次のステップへと移っていきます。後期は、フランス旅行の機会を想定して、オリジナルのフランス旅行のしおりを作成していく課題が課され、校内展示の機会を設けます。

授業名：「特別講座/就職セミナー」　担当講師：ゲスト講師

学習目標：特別講座：現代社会においてクリエイターの役割は益々重要性を増し、その領域は日々拡大しつつあります。講座では創作における考え方、発想法をリアルタイムな講義を通して学んでいきます。
就職セミナー：就職活動から入社後の心構えやクリエイターとしての取り組みなどについてセミナー講座を開催。

授業内容：6/26(土)就職セミナー、9/10(土) 就職セミナー、9/4(土) 就職セミナー、9/24(金)海外留学準備担当講座、10/1(金)海外留学準備担当講座、10/9(土)同窓会特別講座、12/30(土)就職セミナー、12/11(土)創形展特別講座、2/12(土)就職セミナー（就活ポートフォリオ）＊日程は出講表を確認してください。

前期実技授業名：「ベーシックイラストレーションＡ」　担当講師：福井真一

授業期間：2021/04/12(月)- 2021/06/07(月)

学習目標：イラストレーションについての考察。イラストレーションに必要な幾つかの基本的な練習を行います。

授業内容：形、色、構図など基本的な事柄をイラストレーションという観点からアプローチします。またイラストレーションに必要な時宜的課題を制作によって行い、それをプレゼンテーションします。

前期実技授業名：「デジタルイラストレーション」　担当講師：花島百合

授業期間：2021/04/13(火)- 2021/06/16(水)

学習目標：パソコンを使ってイラストを制作してもらいます。ソフトの長所や技術など、コンピューターを通しての作品作りを学びます。

授業内容：イラストレーター、フォトショップを使ったイラストレーションの制作。

前期実技授業名：「メディアブランディング基礎A」　担当講師：髙林直俊

授業期間：2021/04/13(火)- 2021/06/08(火)

学習目標：各メディアの特徴・特性を理解します。また実践的なクライアントワークを通して、自分のスキルや現状の立ち位置を把握します。

授業内容：各メディアの特性や相互関係などを把握し、クライアントワークに取り掛かる前のベースを学びます。
また課題からプレゼンテーションまで、実践的にリアリティーを持って取り組みます。

前期実技授業名：「エディトリアルイラストレーション基礎」

担当講師：いとう瞳

授業期間：2021/04/15(木)- 2021/06/17(木)

学習目標：自らの作品の中のオリジナリティを見つけ、その部分をどう課題に生かすかその方法を探る。またイラストレーターという仕事の上で自らの作品を客観的に見ることを意識する。

授業内容：講評と課題を元に本の挿絵や装画の表現方法を学習します。

前期実技授業名：「イラストレーション個性と表現」　担当講師：飯田 淳

授業期間：2021/04/16(金)- 2021/09/25(土)

学習目標：週１回の実技指導を通じて、各自の魅力に気付いていくために課題を制作する。アイディアと完成度のバランスも考える。

授業内容：自分の個性に気づき、それを表現力に繋げ、オリジナリティーある作品を制作する。色々な材料や道具と出会い技法も発見する。

前期実技授業名：「描写イラストレーションＡ」　担当講師：関根秀星

授業期間：2021/04/16(金)- 2021/06/11(金)

学習目標：モノの本質的、外見的な観察力を養い、正しいプロポーションで描く。インプットからアウトプットへ、表現における一連の作業の大切さ、方法を学ぶ。講評により、自作品を客観的に見る力をつける。

授業内容：鉛筆を用いてモチーフを描く。最終課題では画面構成や見せ方も意識し、作品としての高い完成度を目指す。

前期実技授業名：「映像ワークショップ」　担当講師：三田村光土里

授業期間：2021/04/17(土)- 2021/07/17(土)

学習目標：現代社会のクリエイティブ環境の中には、ますますアート的な感性や発想を求められる機会が増えてきています。それらは目指す共通の理念がアートとデザイン共に人に「感動」を与える事を目標にしているからに他なりません。そういった時代の流れを受けて様々なアートの分野より活躍している講師からリアルタイムな現場の情報と方法論を学び、クリエイティブな発想の「入口」、「きっかけ」になる講座をめざします。

授業内容：フォト・ストーリーをつくろう

前期実技授業名：「ベーシックイラストレーションＢ」　担当講師：都築 潤

授業期間：2021/06/14(月)- 2021/09/13(月)

学習目標：イラストレーションについての考察。イラスト作成に必要な基本的な予備演習を行います。

授業内容：イラストトレーニング、既存のメディアへのイラストの実装
１：メディアやテーマの要求に応えるためのイラスト制作
２：イラストレーション、ビジュアルデザインについての考察

前期実技授業名：「メディアブランディング基礎Ｂ」　担当講師：馬谷浩樹

授業期間：2021/06/15(火)- 2021/09/21(火)

学習目標：新規授業のため後日更新

授業内容：新規授業のため後日更新

前期実技授業名：「描写イラストレーションＢ」　担当講師：須田浩介

授業期間：2021/06/18(金)- 2021/09/17(金)

学習目標：対象物をよく見る事でその物の持つ色や質感などを捉え、アクリル絵の具を混色する事や、色を重ねる事で生の絵の具やデジタルでは生み出せない色を自らの手で作り対象の持つ色の再現度を高める事を目指します。

授業内容：水張りした紙、アクリルガッシュ、筆を使用し用意したモチーフをカラーで描く、絵の具を使う時のルールを授業時に指示します。イラストレーションにおけるリアリティーと想像で描く事とモチーフを見て描く事の違いを考え学ぶ。

前期実技授業名：「実践イラストレーション」　担当講師：信濃八太郎

授業期間：2021/06/22(火)- 2021/09/22(水)

学習目標：

授業内容：イラストレーターとしての表現の幅を広げるためには体験、実験を軸とした技法を「創造」する必要がある。それを仕事の現場を想定した課題の中から学ぶ。

前期実技授業名：「イラストレーション表現基礎」　担当講師：山碕杉夫

授業期間：2021/06/24(木)- 2021/09/16(木)

学習目標：「アートとイラストレーションの違いとはなんだろう？」そんな基本的なところから始めて、実技を通してイラストレーションへの理解と興味を深めていきます。ピカソと言う誰でも知っている人物と侶品をテーマにしてイラストレーションに仕上げていきます。

授業内容：身近なテーマから自分なりの視点と方法でイラストレーションを創ることを経験し、絵とイラストレーションの違いを認識すると共に、自主的に制作する習慣を身につけることを目標にします。

前期実技授業名：「製本実習」　担当講師：山口茉莉

授業期間：2021/09/02(木)- 2021/10/14(木)

学習目標：簡易なノート制作と、自分だけの上製本を制作します。

授業内容：本の造り、紙の持つ性質を学び、実際に製本する過程を通して「本」そのものの価値を考えます。

後期実技授業名：「ファッションイラスト」　担当講師：平沢けいこ

授業期間：2021/09/27(月)- 2021/10/16(土)

学習目標：与えられたテーマの中で自分の世界を表現しつつも自己満足に終わらず、他者にも伝わるイラスト表現を考える。

授業内容：テーマに沿ったイラストを制作。

後期実技授業名：「デザインとアート」　担当講師：松蔭浩之

授業期間：2021/10/04(月)- 2021/11/22(月)

学習目標：現代美術の世界をわかりやすく解説。特にデザイン的に重要と考える作家と技法を紹介し、実践を試みる。

授業内容：美術史の流れの中で生まれた技法や手法を用いて、今までの自分とは異なる“変わった”作品を制作。座学とワークショップ形式の授業から現代美術を体感する。

後期実技授業名：「イラストレーション個性と技法」　担当講師：飯田 淳

授業期間：2021/10/05(火)- 2022/02/01(火)

学習目標：技法を通じて、個性をより強調した作品を数多く制作する。

授業内容：課題に取り組むことにより、各自新しい技法を発見する。

後期実技授業名：「イラストコミック」　担当講師：石山さやか

授業期間：2021/10/06(水)- 2022/12/15(水)

学習目標：これまで培ってきた自分の作風・興味のあるテーマを大事にしつつ、さらに発想力・考える力を磨いてゆきます。

授業内容：よく知られるおとぎ話の要素を置き換え、自分の漫画作品に仕上げる『翻案』を行います。物語の趣旨を捉える理解力、自分なりのアイディアを込め、作りあげる発想力を問います。

後期実技授業名：「絵本イラストレーションＡ」　担当講師：竹内通雅

授業期間：2021/10/08(金)- 2021/11/26(金)

学習目標：絵本表現における言葉と絵の関係性について考察し、実技演習を通して表現力、技術力を培う。

授業内容：同一テーマで手製絵本を制作する。

後期実技授業名：「エディトリアルイラスト」

担当講師：宮古美智代

授業期間：2021/10/18(月)- 2021/11/10(水)

学習目標：イラストレーションのマーケットにおいて、エディトリアルの占める割合は大きい。実際のエディトリアルデザインの現場に携わるアートディレクターによる実習。ＡＤの視点において評価していく。

授業内容：与えられた短編を読み、その文章のためのイラストを描く。文章を読み解き、何を描くべきか、また、どのようにレイアウトデザインにおとしこんでいくか。その考えと実制作を行なう。

①. 各学生の作品を見る。短いエッセイを読んでもらい、どんな絵を描きたいと思うかディスカッション

②. 雑誌や絵本等を見て、イラストと文章の関係について考えてみる。短編を読み、描くモチーフ、ページ構成を考える。

③. 描き上げた絵をスクリーンに映し、その絵がどのようにレイアウトされていくかを説明しつつ、実践。各自講評

後期授業名：「デザインの仕事と現場」　担当講師：大久保裕文

授業期間：2021/10/21(木)- 2022/02/03(木)

学習目標：印刷媒体を中心としたグラフィックデザインのアイディアや実際の作業の説明。

授業内容：いままで経験したデザイン事例の解説。数回、編集者やカメラマンを呼んで、彼らとの仕事の関連事例を伝える。課題としては街の風景写真、フライヤー制作、アルファベットのタイポグラフィ制作など。

後期実技授業名：「テーマ表現イラスト」　担当講師：Cato Friend

授業期間：2021/11/11(木)- 2021/12/04(土)

学習目標：商業施設ポスター（その商業施設の何周年かのアニバーサリー様ビジュアル）を想定としたイラスト制作

授業内容：イラストレーションとして世の中に出た際に自分で描いた絵がどのように見えるのか、また目的があるビジュアルイメージをどのように表現できるかを考えて制作。商業施設のビジュアルとしてあまり縛りがないイラストを描き、文字が入る事を想定し、仕事として描いた場合の工夫を行なう。

後期実技授業名：「イラストアニメーション」　担当講師：飯田 萌

授業期間：2021/12/06(月)- 2022/01/15(土)

学習目標：手描き、コマ撮りなど様々なアニメーション表現を作品鑑賞から探り、絵が動く楽しさを、自身の制作を通し経験する。

授業内容：様々なアニメーション作品の鑑賞とアニメーション制作

後期実技授業名：「先端メディア(先端メディア アート&デザイン)」

担当講師：八幡純和

授業期間：2022/01/13(木)- 2022/02/03(木)

学習目標：VR という技術とそこに連動して様々な新しい魅力を展開しているサービスへの理解。また先端技術を応用した作品制作への展開。

授業内容：ゲームやファッションの世界だけでなく現代の様々なカルチャーやサービス、イベントなどと連動して発展している「VR（バーチャルリアリティ)」の世界。その VR の仕組みと特性を理解しながらバーチャル空間ならではの作品制作を個々に試みます。

後期実技授業名：「絵本イラストレーションＢ」　担当講師：岡山伸也

授業期間：2021/12/03(金)- 2022/02/04(金)

学習目標：既存の物語という限定された条件の中、制作することで、いかにして自分のオリジナリティを反映させ作品、商品として質の高い絵本に仕上げていくかを学びます。

授業内容：名作物語やおとぎ話に挿絵を描く形で絵本を制作します。

後期実技授業名：「プロダクトイラストレーション」　担当講師：緒方 環

授業期間：2022/01/17(月)- 2022/02/05(土)

学習目標：商品に付加価値を与えるための「絵」としてイラストレーションを制作する。同時に雑貨マーケットのイラストレーションを研究する。

授業内容：プロダクトイラストレーションについて、いくつかのテーマをもとに実際のシチュエーションを想定し、制作する。イラストレーションを使ったオリジナルプロダクト製品及びロゴやパッケージ等を制作する。

後期実技授業名:「就活ポートフォリオ(就職支援カリキュラム)／インターンシップ」

担当講師：上野仁志、山本哲次

授業期間：2022/02/07(月)- 2022/02/26(土)

学習目標：仕事に対しての意識を高め、就職活動を知り、将来計画のきっかけをつくることを目標とします。

インターンシップを経験することにより、専門的知識についての実務能力を高めるとともに、学習意欲に対する刺激を得られ、高い就業意識を身につけることができます。さらに、将来の進路選択において自らの適性や能力について実践的に考える機会になります。クリエイティブ業界の最新の情報を得られるとともに、会社が求める人材に対するニーズが把握できる事も大きなメリットです。

授業内容：自分のポートフォリオを制作し、プレゼンテーションを行ないます。また、就職についての講義を行ないます。

就業体験（インターンシップ）をし、実習レポートをまとめて提出。（希望選択制）

学校法人高澤学園
創形美術学校
〒171-0021 東京都豊島区西池袋 3-31-2
TEL 03-3986-1981 FAX 03-3986-1982
URL https://www.sokei.ac.jp/
E-mail:sokei@sokei.ac.jp